

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード : 130024

診療補助技術論 I Medical care assistance I

担当教員	木森 佳子、田村 幸恵				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	診療・検査・治療の補助、療養生活				
学習目的・目標	【学習目的】 安全・正確な診察・検査・治療の補助看護技術を感染管理技術を共通基盤に実践へ応用できる力を習得する。 【学習目標】 1. 安全で正確な検査・診断・治療場面に必要な感染管理技術を実践できる。 2. 安全で正確な検査・診断・治療過程での看護の役割を理解し、実践した援助方法を評価できる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1-2	感染管理技術① 1. 検査・診断・治療場面における感染管理とは				田村
3	感染管理技術② 2. 消毒と滅菌、無菌操作、医療廃棄物の取り扱い				田村
4-5	検査・診断・治療過程への援助① 1. 診察・診断を受ける対象のアセスメント 2. 診察、検尿・便、静脈内採血、X線検査・超音波検査・CT・MRI検査、穿刺検査（骨髄・胸腔・腹腔・腰椎）を受ける対象への援助方法				木森
6-7	検査・診断・治療過程への援助② 3. 治療を受ける対象のアセスメント 4. 麻薬など危険の大きい薬物の取り扱い、吸入、点眼、点鼻、経皮的貼付薬、皮内・皮下・静脈内・筋肉内注射・点滴静脈内注射を受ける対象への援助方法				木森
教科書	茂野香おる編：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学技術 I・II、医学書院 任和子、秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術、医学書院				
参考図書等					
評価指標	授業への参加状況（レポート、演習時の態度等）10%と、筆記試験90%で評価する				
関連科目	解剖生理学、疾病・障害論、基礎看護学実習 I・II、臨床薬理学				
教員から学生へのメッセージ	対象の目的が安全・正確に実施されるための技術を学びます。その中には医療事故や侵襲が伴う技術もあります。対象の深い理解と正確で根拠のある実践が求められます。				